



(住所) 港区北青山1丁目1番9号 青山中学校内
(電話) 03-5422-1548
(HPアドレス) <https://tsubasa.minato-tky.ed.jp/>



「ありがとう」を言葉や行動で伝え合える夏を



FIFA ワールドカップ 2026 が開催され、連日熱戦が繰り広げられています。

日本人サポーターによる試合後の清掃活動は、2018年のロシア大会ごろから海外でも広く知られるようになり、2022年のカタール大会に続いて、今大会でも話題になっています。

FIFAは6月15日(日本時間)、日本人サポーターが試合後の観客席を清掃の様子を公式Xに投稿しました。そこには、次のような言葉が添えられています。

“The reason Japan fans clean the stadium after each game. Respect.”

「日本のサポーターが毎試合後にスタジアムを清掃する理由。それは敬意です」

動画の中で、日本人サポーターはインタビューにこう答えています。

「これは日本の文化です。何よりも、すべてに対する敬意だと思います。選手、サポーター、そしてスタジアムへの敬意です。私たちはここにいられることを光栄に思っています。だから、散らかしたまま帰りたくありません。それが、私たちが清掃する理由だと思います」

また、米国の「FOX Soccer」は、日本代表が試合後に使用したロッカールームの写真とともに、次のように投稿しました。

“Another amazing Japanese tradition. Always leaving the locker room spotless after its matches.”

「もう一つの素晴らしい日本の伝統。試合後、いつもロッカールームをきれいに退出する」

激しい試合を終えた直後に、自分たちが使ったロッカールームをきれいにして立ち去ることは、決して簡単なことではありません。それでも、大会を支える人々への感謝や施設への敬意を行動で表す姿が世界から称賛されています。こうした行動の背景には、幼いころから教室などを自分たちで掃除してきた日本の学校教育の文化もあるのかもしれません。もしそうであれば、学校で繰り返し経験してきたことが、大人になってからも自然な行動として表れた、すばらしい例だと思います。

「ありがとう」と言葉で伝えることは大切です。しかし、使った場所を整える、誰かをそっと手伝うなど、言葉はなくても感謝や敬意を小さな行動で表すこともできます。大切なのは、立派なことをすることではなく、自分にできる方法で気持ちを形にすることなのだと思います。

これから夏休みを迎えます。子どもたちも、日々その歩みを支えているご家族の皆様も、どうか互いの小さな頑張りに目を向け、「ありがとう」を言葉や行動で伝え合える夏をお過ごしください。



FIFA 公式Xの投稿



FOX Soccer 公式Xの投稿

SST（ソーシャル・スキル・トレーニング）

昨年度後半に行っていた SST（ソーシャルスキルトレーニング）を、今年度も実施しています。

SST とは、人との関わり方や自分の気持ちの伝え方などを、活動を通して少しずつ練習していく取組です。SST というと少し堅苦しく聞こえるかもしれませんが、つばさ教室では、誰でも参加しやすい「サイコロトーク」をゲーム感覚で行っています。

活動のはじめには、「人の話を静かに聞く」「回答者が話し終わってから質問する」「話したくないことは無理に話さなくてもよい」など、安心して話せるためのルールを確認しています。トークテーマは、「最近嬉しかったことは？」「『おいしい！』と思う食べ物は？」など、答えやすく、気軽に話せるものを選んでいきます。

実際にやってみると、自分では考えないような回答が出てきて新鮮な気持ちになったり、「そうなんだ」「自分も同じだ」と感じたりする場面があります。また、普段の会話だけでは分からなかったお互いのことを知るきっかけにもなっています。

SST では、上手に話すことだけを目指しているわけではありません。相手の話を最後まで聞くこと、自分の考えを少し言葉にしてみることに挑戦すること、質問をしてみることに挑戦すること、相手との違いに気付くことなども大切な経験です。こうした小さな経験を重ねることで、人と関わることに安心感や、自分の気持ちを表現する力につながっていくことを期待しています。

不定期ではありますが、今後も実施しますので、気軽に参加してみてください。



NT（ネイティブ・ティーチャーによる外国語活動）



つばさ教室では、毎週月曜日と金曜日の午前 11 時から 1 時間、ネイティブ・ティーチャーによる外国語活動を行っています。

参加する子どもたちは、小学生から中学生まで幅広く、英語に慣れている子もいれば、少し苦手意識をもっている子もいます。そのため、ネイティブ・ティーチャーは、その日に参加する子どもたちの様子や語学力に合わせて、無理なく取り組めるプログラムを考えて指導してくれています。

活動では、英語のゲーム、簡単な会話、カードを使ったやり取りなど、楽しみながら英語に触れられる内容を取り入れています。「正しく話さなければいけない」というよりも、「聞いてみる」

「まねして言う」「伝わったことを喜ぶ」といった経験を大切にしています。英語を使ったやり取りを通して、外国語に親しむことはもちろん、人と関わる楽しさや、自分の思いを伝えようとする気持ちも育っていきます。もちろん、ネイティブ・ティーチャーだけで進めるのではなく、つばさ教室の指導員もそばについてサポートしていますので子どもたちは安心して活動に参加しています。

毎回、楽しい雰囲気の中でプログラムが進んでいます。英語が得意な人はもちろん、少し苦手だなと感じている人も心配はいりません。まずは見学する気持ちで、気軽に参加してみてください。

夏休みの開室について

つばさ教室は夏季休業中も通常通り開室していましたが、今年度に関しては青山中学校の工事の関係で開室の期間や教室が変更になる可能性があります。詳しいことは別の文書でお知らせしますのでそちらを参照してください。

